



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL https://www.koike-japan.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	9,422	0.9	144	△41.1	356	124.1	81	—
2021年3月期第1四半期	9,336	△10.7	244	—	159	753.2	△40	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 529百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 2百万円 (△99.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	19.75	—
2021年3月期第1四半期	△9.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	56,480	32,046	52.3
2021年3月期	56,215	31,909	52.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 29,544百万円 2021年3月期 29,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	19,000	2.3	550	30.8	700	73.7	300	—	72.29
通期	40,000	1.9	1,500	31.9	1,750	28.2	900	—	216.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	4,522,933株	2021年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	372,034株	2021年3月期	371,984株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	4,150,937株	2021年3月期1Q	4,146,226株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだことにより総じて景況感に改善が見られたものの、新たな変異株の感染者数が世界的に増加しており、依然として予断を許さない状況が続きました。

また、わが国経済は、設備投資に持ち直しの動きが見られましたが、主要都市部における緊急事態宣言の再発令や、まん延防止等重点措置の実施により個人消費は低迷し、先行き不透明感の強く残る状況となりました。

当社グループの主要需要先においては、建設業界・産業機械業界では需要に回復の動きが見られ、造船業界では低迷していた市況に回復の兆しが見られたものの、当社の受注環境への影響は限定的なものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画で掲げた「世界市場での顧客満足の実現」に向けた取組を継続し、売上高は前年並みで推移しましたが、海外において新型コロナウイルス感染症の影響による収益環境の悪化が大きく、営業利益は減少しました。

一方で、前年はブラジルリアル安に伴う大幅な為替差損が発生しましたが、本年はそれが解消されたことなどにより、前年と比較して経常利益は増加しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は94億22百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は1億44百万円（同41.1%減）、経常利益は3億56百万円（同124.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は81百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失40百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、新型コロナウイルス感染症の影響で顧客訪問が制限されたなか、WEB展示会を開催するなど、営業活動の強化に取り組みましたが、国内外の市況が低調に推移したことにより、売上高は減少しました。

その結果、売上高は26億68百万円（前年同期比16.8%減）、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント利益1億52百万円）となりました。

高圧ガス

高圧ガス部門においては、当社の主要需要先である建設業界・産業機械業界の市況に復調傾向が見られたことにより、産業用ガスの出荷数量は回復基調で推移しました。また、医療分野では新型コロナウイルス関連品目であるパルスオキシメーター、酸素濃縮器、酸素流量計などの販売が好調に推移し、売上高は増加しました。

その結果、売上高は44億64百万円（前年同期比15.5%増）、セグメント利益は3億13百万円（同93.0%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、労働安全衛生法の改正に対応した作業環境測定機器や周辺機器の販売に注力するとともに、工場扇をはじめとする季節商材の販売を強化したことなどにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は22億5百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は1億48百万円（同107.6%増）となりました。

その他

その他の部門においては、海外液晶パネルメーカー向け排ガス処理装置の販売が減少したことなどにより、売上高は減少しました。

その結果、売上高は83百万円（前年同期比63.2%減）、セグメント利益は3百万円（同93.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は564億80百万円で、前連結会計年度末比2億64百万円の増加となりました。

流動資産合計は300億99百万円で、前連結会計年度末比1億49百万円の増加となりました。これは主に仕掛品が6億24百万円増加、商品及び製品が4億10百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が7億84百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は263億80百万円で、前連結会計年度末比1億14百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が99百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は244億33百万円で、前連結会計年度末比1億27百万円の増加となりました。

流動負債合計は177億49百万円で、前連結会計年度末比1億68百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が93百万円増加、電子記録債務が86百万円増加、賞与引当金が73百万円増加の一方、未払法人税等が1億26百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は66億83百万円で、前連結会計年度末比40百万円の減少となりました。これは主に役員退職慰労引当金が20百万円減少、長期借入金が15百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は320億46百万円で、前連結会計年度末比1億37百万円の増加となりました。これは主に為替換算調整勘定が2億89百万円増加、その他有価証券評価差額金が65百万円増加の一方、利益剰余金が2億39百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は52.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,217	11,239
受取手形及び売掛金	11,813	11,029
有価証券	325	316
商品及び製品	3,279	3,690
仕掛品	1,491	2,115
原材料及び貯蔵品	1,414	1,209
その他	689	778
貸倒引当金	△282	△279
流動資産合計	29,949	30,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,760	3,754
機械装置及び運搬具(純額)	1,080	1,087
工具、器具及び備品(純額)	686	729
土地	6,674	6,681
リース資産(純額)	1,283	1,175
建設仮勘定	112	175
有形固定資産合計	13,597	13,603
無形固定資産		
のれん	33	30
リース資産	3	3
その他	181	172
無形固定資産合計	218	206
投資その他の資産	12,450	12,569
固定資産合計	26,266	26,380
資産合計	56,215	56,480

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,646	5,740
電子記録債務	3,008	3,095
短期借入金	4,550	4,509
1年内返済予定の長期借入金	528	509
未払法人税等	281	155
賞与引当金	395	468
役員賞与引当金	55	12
受注損失引当金	25	8
製品保証引当金	106	89
建物解体費用引当金	13	13
その他	2,970	3,147
流動負債合計	17,581	17,749
固定負債		
長期借入金	2,117	2,101
役員退職慰労引当金	152	131
退職給付に係る負債	189	192
資産除去債務	15	15
その他	4,249	4,242
固定負債合計	6,724	6,683
負債合計	24,306	24,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,347	2,325
利益剰余金	20,173	19,933
自己株式	△881	△855
株主資本合計	25,667	25,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,202	2,268
繰延ヘッジ損益	△10	△10
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	353	642
退職給付に係る調整累計額	356	343
その他の包括利益累計額合計	3,770	4,112
非支配株主持分	2,471	2,502
純資産合計	31,909	32,046
負債純資産合計	56,215	56,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	9,336	9,422
売上原価	6,538	6,734
売上総利益	2,797	2,688
販売費及び一般管理費	2,553	2,544
営業利益	244	144
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	36	40
受取賃貸料	47	83
持分法による投資利益	10	2
物品売却益	8	14
貸倒引当金戻入額	—	11
雇用調整助成金	—	86
その他	21	37
営業外収益合計	129	283
営業外費用		
支払利息	20	22
賃貸費用	13	34
為替差損	163	6
その他	17	7
営業外費用合計	215	71
経常利益	159	356
特別利益		
固定資産売却益	0	1
その他	0	—
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
減損損失	0	—
災害による損失	3	—
その他	—	4
特別損失合計	4	7
税金等調整前四半期純利益	155	351
法人税、住民税及び事業税	49	113
法人税等調整額	99	72
法人税等合計	148	185
四半期純利益	6	165
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	83
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△40	81

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	6	165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	64
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	10	312
退職給付に係る調整額	△8	△12
その他の包括利益合計	△3	364
四半期包括利益	2	529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2	424
非支配株主に係る四半期包括利益	0	105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,206	3,867	2,036	9,110	226	9,336	—	9,336
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,206	3,867	2,036	9,110	226	9,336	—	9,336
セグメント利益	152	162	71	387	44	431	△186	244

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△186百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△284百万円、棚卸資産の調整額10百万円及びその他の調整額87百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	2,668	4,464	2,205	9,339	83	9,422	—	9,422
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売 上高	2,668	4,464	2,205	9,339	83	9,422	—	9,422
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,668	4,464	2,205	9,339	83	9,422	—	9,422
セグメント利益又 は損失(△)	△1	313	148	460	3	463	△319	144

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△319百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△300百万円、棚卸資産の調整額△55百万円及びその他の調整額35百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の機械装置部門の売上高が1百万円減少、その他の部門の売上高が13百万円減少、機械装置部門のセグメント利益が1百万円減少、その他の部門のセグメント利益が9百万円減少しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	2,086	78.8
高压ガス (百万円)	53	95.3
報告セグメント計 (百万円)	2,139	79.2
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	2,139	79.2

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	2,859	127.6	4,790	123.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	2,668	83.2
高压ガス (百万円)	4,464	115.5
溶接機材 (百万円)	2,205	108.3
報告セグメント計 (百万円)	9,339	102.5
その他 (百万円)	83	36.8
合計 (百万円)	9,422	100.9

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。